



## 平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カワニシホールディングス

コード番号 2689 URL <http://www.kawanishi-md.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高井 平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 河田 肇

TEL 086-245-1112

四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	73,316	32.9	1,530	99.7	1,518	103.7	925	176.5
24年6月期第3四半期	55,184	17.1	766	37.0	745	38.5	334	12.6

(注) 包括利益 25年6月期第3四半期 969百万円 (226.4%) 24年6月期第3四半期 297百万円 (△3.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	164.98	—
24年6月期第3四半期	59.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第3四半期	37,325	3,198	8.6	570.00
24年6月期	28,298	2,284	8.1	407.18

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 3,198百万円 24年6月期 2,284百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,921	27.0	1,386	80.9	1,361	81.5	794	129.6	141.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期3Q	6,250,000 株	24年6月期	6,250,000 株
② 期末自己株式数	25年6月期3Q	639,155 株	24年6月期	639,155 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期3Q	5,610,845 株	24年6月期3Q	5,610,874 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は733億16百万円（前年同期比 32.9%増）、連結経常利益は15億18百万円（前年同期比 103.7%増）、連結四半期純利益は9億25百万円（前年同期比 176.5%増）となりました。

なお、連結売上高及び連結経常利益の増加率に比べ、連結四半期純利益の増加率が高いのは、平成24年11月29日に公表いたしましたとおり、サンセイ医機株式会社に対して東京電力株式会社より賠償金が支払われたため、特別利益として受取補償金1億36百万円を計上したためです。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

#### 〈医療器材事業〉

手術関連消耗品は、引き続き順調に成長を継続しております。平成24年1月に連結対象となったサンセイ医機株式会社（福島県郡山市）の業績加算が主な要因ですが、そのほかにも、商権獲得が進んだ島根・山口・愛媛・徳島・高知の売上高は、前年同期比で10%超の増収となりました。その結果、手術関連消耗品全体の売上高は前年同期比144.1%となりました。

整形外科関連商品は、平成24年4月以降の償還価格改定に伴う販売単価の下落が業績を5%前後も下押しするなか、平成23年6月に株式会社カワニシ広島支店が受けた行政処分の影響から回復したことに加え、兵庫・広島・愛媛・徳島でのシェアアップが進みました。これに、サンセイ医機株式会社の業績が上積みされ、売上高は前年同期比115.1%となりました。

循環器関連商品は、償還価格改定に伴う販売単価の下落が業績を10%強も下押しするなか、アブレーションカテーテル（カテーテル先端の高周波メスで頻脈性不整脈の回路を焼く治療）・ペースメーカ・植込み型除細動器といった不整脈治療用デバイスや、血管造影検査用の放射線装置の獲得が進みました。岡山・山口・香川・徳島で前年同期比10%超の増収となるなど健闘し、さらにサンセイ医機株式会社の業績が上積みされ、売上高は前年同期比110.0%となりました。

設備・備品の販売は、大手基幹病院における新增築や建て替えにともなう設備・機器の追加受注による特需売上が岡山・広島・福島等で大きく伸ばしたことにより、当初予想を15億円あまりも上回る増収となっています。

その結果、医療器材事業は、売上高647億5百万円（前年同期比 39.4%増）、営業利益15億78百万円（前年同期比 102.4%増）となりました。

#### 〈ライフサイエンス事業〉

基礎研究領域は、科学研究費の予算執行の動き出しが鈍く、また研究費の越年化が認められるようになったことから買い込み需要も減少しています。研究に関連した分析・解析等の受託に伸びがみられるものの、前年同期の復興予算による放射線関連機器の販売の反動もあり、売上高は前年同期比84.7%にとどまりました。

診断薬領域におきましても、免疫系試薬の販売が伸びているものの前年同期の大型案件販売の反動があり、売上高は前年同期比93.5%にとどまりました。

その結果、ライフサイエンス事業は、売上高33億20百万円（前年同期比 9.5%減）、営業損失30百万円（前年同期 営業損失9百万円）となりました。

高塚ライフサイエンス株式会社では成長力を強化するために、当第3四半期より、岡山県内の新顧客

の開拓・商権拡大に取り組んでおり、組織・人事の見直しに着手し、営業人材の強化プログラムを進めております。

〈SPD事業〉

病院での使用材料は微増したものの、低利益率の商材が多く、売上高・売上総利益ともにわずかな伸びに留まりました。また新規受託先が2施設増えましたが、顧客増に伴い人件費も増加しました。

その結果、SPD事業は、売上高70億61百万円（前年同期比 1.8%増）、営業利益51百万円（前年同期比 1.3%減）となりました。

〈介護用品事業〉

平成23年6月期より営業エリアの拡大策をとり、相次いで営業拠点を新設しており、平成24年11月にも新たに神戸支店を開設しました。平成23年4月に出店した広島支店は前年同期比で177.3%の増収、同年12月に出店した加古川支店は前年同期比で11倍以上の増収となっています。隣接する拠点からの迅速な対応に加え、ケアマネージャーの採用によりサービス力の強化も図っています。

新規出店費用及び営業社員の拡充等の投資がまだ先行しているため、介護用品事業は、売上高7億36百万円（前年同期比 22.9%増）、営業利益27百万円（前年同期比 21.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は373億25百万円となり、前連結会計年度と比べ90億27百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が28億77百万円、受取手形及び売掛金が53億94百万円、商品が9億11百万円増加した一方で、有形固定資産が54百万円、無形固定資産が55百万円減少したことによるものであります。

また、負債は341億27百万円となり、前連結会年度と比べ、81億13百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が62億45百万円、短期借入金が23億66百万円増加した一方で、長期借入金が7億61百万円減少したことによるものであります。

純資産は31億98百万円となり、前連結会計年度と比べ、9億13百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益により9億25百万円増加した一方で、配当金により56百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、0.5ポイント増加し、8.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成25年1月25日に公表いたしました平成25年6月期の連結業績予想を修正しております。その内容につきましては、平成25年4月25日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,752,055	8,629,832
受取手形及び売掛金	14,090,323	19,484,583
商品	3,180,076	4,091,149
その他	767,382	656,278
流動資産合計	23,789,837	32,861,843
固定資産		
有形固定資産	2,878,036	2,823,666
無形固定資産		
のれん	475,087	388,868
その他	153,119	183,957
無形固定資産合計	628,207	572,825
投資その他の資産	1,002,454	1,067,520
固定資産合計	4,508,698	4,464,013
資産合計	28,298,536	37,325,857
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,506,614	24,752,525
短期借入金	3,367,640	5,733,897
未払法人税等	348,440	551,774
賞与引当金	13,740	27,902
その他	1,017,589	1,038,517
流動負債合計	23,254,025	32,104,616
固定負債		
社債	50,000	40,000
長期借入金	1,637,291	875,744
退職給付引当金	322,364	326,743
役員退職慰労引当金	638,800	670,373
その他	111,430	110,175
固定負債合計	2,759,885	2,023,036
負債合計	26,013,910	34,127,652
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,750
利益剰余金	2,158,424	3,028,018
自己株式	△834,122	△834,122
株主資本合計	2,275,801	3,145,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,823	52,807
その他の包括利益累計額合計	8,823	52,807
純資産合計	2,284,625	3,198,204
負債純資産合計	28,298,536	37,325,857

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
売上高	55,184,004	73,316,049
売上原価	49,292,521	65,560,760
売上総利益	5,891,483	7,755,289
販売費及び一般管理費	5,125,159	6,224,974
営業利益	766,323	1,530,314
営業外収益		
受取利息	1,966	1,215
受取配当金	1,124	1,130
受取保険金	1,102	8,935
持分法による投資利益	628	474
その他	14,376	28,676
営業外収益合計	19,197	40,431
営業外費用		
支払利息	38,262	46,694
その他	1,592	5,160
営業外費用合計	39,854	51,854
経常利益	745,666	1,518,891
特別利益		
有形固定資産売却益	964	850
受取補償金	11,047	136,794
特別利益合計	12,011	137,645
特別損失		
有形固定資産除却損	7,679	2,820
投資有価証券評価損	4,326	—
減損損失	—	33,629
商品評価損	46,428	—
役員退職慰労金	—	5,000
特別損失合計	58,433	41,450
税金等調整前四半期純利益	699,244	1,615,087
法人税、住民税及び事業税	310,516	687,182
法人税等調整額	53,931	2,202
法人税等合計	364,448	689,384
少数株主損益調整前四半期純利益	334,795	925,702
四半期純利益	334,795	925,702

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	334,795	925,702
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△37,705	43,984
その他の包括利益合計	△37,705	43,984
四半期包括利益	297,090	969,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,090	969,687
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	44,095,076	3,647,455	6,842,575	598,895	55,184,004	—	55,184,004
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,306,967	21,173	96,742	292	2,425,174	△2,425,174	—
計	46,402,043	3,668,629	6,939,318	599,188	57,609,178	△2,425,174	55,184,004
セグメント利益	779,777	△9,830	51,966	35,640	857,554	△91,231	766,323

(注)1 セグメント利益の調整額△91,231千円には、セグメント間取引消去8,999千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△100,230千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度の末日に比べて、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。これは平成24年1月4日付けでサンセイ医機株式会社及びサンセイ・メディック株式会社を連結子会社化したことに伴い、同社の資産を報告セグメント「医療器材事業」に計上したことによるものであります。前連結会計年度に比べて増加したセグメントの資産の金額は「医療器材事業」が7,756,282千円であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医療器材事業」セグメントにおいて、サンセイ医機株式会社の株式取得時における取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして認識しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、347,178千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	62,324,729	3,287,505	6,968,440	735,374	73,316,049	—	73,316,049
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,381,242	33,408	93,038	1,243	2,508,932	△2,508,932	—
計	64,705,972	3,320,913	7,061,478	736,617	75,824,982	△2,508,932	73,316,049
セグメント利益 又は損失(△)	1,578,652	△30,989	51,285	27,863	1,626,811	△96,496	1,530,314

(注)1 セグメント利益の調整額△96,496千円には、セグメント間取引消去550千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△97,047千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療器材事業」セグメントにおいて、サンセイ医機株式会社での新社屋建設に伴い旧社屋に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において33,629千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。